

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2644 号

Nutritional status in patients undergoing Phase II cardiac rehabilitation by mini-nutritional assessment

回復期心臓リハビリテーション患者における簡易栄養状態評価表を用いた栄養評価の検討

野澤 洋介 (のざわ ようすけ)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、心臓リハビリテーション患者の栄養状態の評価における Mini nutritional assessment (MNA) の有用性を初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。回復期心リハに参加し、開始時に MNA の評価を行った 336 例 (平均年齢 70.1±11.4 歳、男性 209 例、開心術後：151 例 (45%)、慢性心不全：119 例 (35%)、その他：66 例 (20%)) を対象とした。MNA-SF (MNA-Short Form) の 12 をカットオフ値とした MNA-SF の低栄養に対する感度は 100.0%、特異度は 58.9%であった。全例において 24 をカットオフ値とした MNA 総合スコアの低栄養に対する感度は 96.9%、特異度は 54.9%であった。MNA-SF と MNA 総合スコアの低栄養に対する感度はいずれも高く、両者の低栄養に対する感度は今回の条件下においては概ね同等であった。また、12 をカットオフ値とした MNA-SF による MNA 総合スコア区分の低栄養の恐れまたは低栄養 (総合スコア<24) に対する感度は 81.0%、特異度は 87.5%であった。本研究の実データを用いた ROC 分析における MNA 総合スコア区分に対する MNA-SF のカットオフ値は 12 であり、現行の基準値と一致した。これらの結果は、国内の心リハ患者においても MNA-SF のカットオフ値は妥当であることを示唆するものである。本研究では、心リハ患者において、約半数の患者に低栄養のリスクがあること、MNA-SF および MNA 総合スコアの低栄養に対する感度は十分に高く、両者の感度は概ね同等であったこと、また、低栄養リスクの判定において MNA 総合スコアの判定が正しいと仮定した場合、MNA-SF の現行のカットオフ値 (<12) は妥当であるが、一定の見逃しリスクがあることが示された。本研究の結果は、心リハ患者の栄養状態の評価における MNA の有用性を示す重要な知見である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。